

(企画・制作) 産経新聞社メディア営業局

第30回 地球環境大賞 Since 1992

私たちは地球温暖化の防止に積極的に取り組んでいます

地球環境大賞は平成4年、「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、産業界を対象とする顕彰制度として、公益財団法人世界自然保護基金ジャパンの特別協力を得て創設されました。本制度は地球温暖化防止や循環型社会の実現に寄与する新技術・新製品の開発、環境保全活動・事業の進捗や、21世紀の社会システムの探求、地球環境に対する保全意識の一段の向上を目的としています。

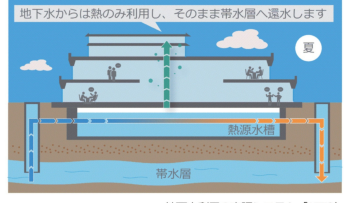


大和ハウスグループみらい価値共創センター

大和ハウス工業は、風・太陽・水の恵みを生かした環境配慮型研修施設「大和ハウスグループみらい価値共創センター」(奈良市)を開設した。最先端の技術で「脱炭素」と「自然共生」を実現する、世界水準のサステナブル(持続可能な)建築を実現。「みらい価値共創人材の育成拠点」として「地域の子供たちを中心とした共育活動」「さまざまなステークホルダーとの共創活動」「大和ハウスグループの新たな事業価値を生む社員教育」の3つを柱に、あらゆる世代が共に学び、人材を共に育む「場」づくりに取り組んでいる。

「大和ハウスグループみらい価値共創センター」の特長の一つは、地下水を地上に降りのひょう雨を最大限に生かした環境への取り組みだ。年間を通して一定の温度を保つ地下水の特長を、建物の空調に利用する排水蓄熱システム「ATES」を採用している。「ATES」では、冷房運転時に外気温と比較して冷たい地下水を、暖房運転時には温かい地下水を井戸から揚水し、それぞれ利用井戸から揚水した地下水は熱のみを利用し、帯層へ全量還水する電力使用量をCO2(二酸化炭素)排出量に切り替えて、脱炭素に寄与している。ほか、揚水した地下水を全量還水することで地盤沈下を防止するなど、持続的な地下水の利用を可能にする。敷地内に雨水の浸透と保水を両立する「レインガーデン」も設けている。

レインガーデンも設けている。施設では「ATES」以外にもさまざまな環境配慮技術を取り入れ、同規模の一般建築と比較して二次エネルギーの消費量を63%削減し、「ZEBネット・ゼロ・エネルギー・ビル」を実現した施設で使用する全電気を再生可能エネルギーとするなど、



地下水利用の空調システム「ATES」

「レインガーデン」は、雨水の浸透と保水を両立する。写真撮影後

「みらい価値共創センター」を開設

環境配慮に優れた研修施設 「みらい価値共創センター」を開設

大和ハウスグループでは、創業100周年にあたる2025年に売上高10兆円を目指す。新しい価値を創出する人材の育成に努めている。その一環として、大和ハウスグループの新たな事業価値を生む社員教育の異なる企業や研究機関とともに社会課題解決への価値を生む共創活動「子供たちとともに地域の未来を創出する価値を生む共育活動」に取り組んでいる。

大和ハウス工業株式会社
〒530-8241
大阪市北区梅田3丁目3番5号
https://www.daiwahouse.co.jp/



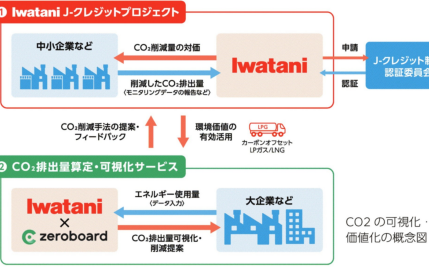
社内研修をはじめ、様々な活動の拠点となる



雨水の浸透と保水を両立する「レインガーデン」。写真は撮影後

CO2排出量を可視化・価値化 企業の脱炭素経営をサポート

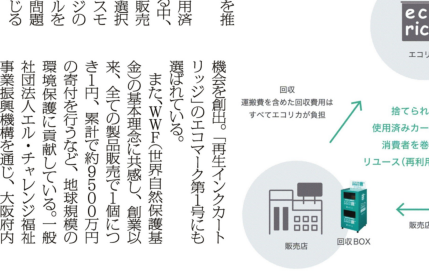
岩谷産業は、国のJ-クレジット制度を活用した「Iwatani J-クレジットプロジェクト」の認定CO2削減プロジェクトの認定申請を行い、CO2削減量の対価としてクレジットを取得し、削減したCO2排出量をクレジットとしてクレジット制度に申請し、クレジット制度認定委員会からクレジットを取得する。



岩谷産業株式会社
〒541-0053
大阪市中央区本町3-6-4
http://www.iwatani.co.jp/jpn/

使用済みカートリッジをリサイクル 環境保全とビジネスを両立

エコリカは、インクジェットプリンターの使用済みカートリッジを回収し、再処理してリサイクルするシステムを2003年に国内で初めて実現した。現在、家電量販店やパソコン専門店、カメラ専門店、全国1万カ所以上に回収ボックスを設置し、回収した使用済みカートリッジは製品としてリユースし、製品化できないカートリッジはリサイクルして再利用する。プラスチック資源の有効活用を推進している。



株式会社エコリカ
〒540-0027
大阪市中央区錦町1-2-9
https://www.eoricarica.jp/

エコリカは、インクジェットプリンターの使用済みカートリッジを回収し、再処理してリサイクルするシステムを2003年に国内で初めて実現した。現在、家電量販店やパソコン専門店、カメラ専門店、全国1万カ所以上に回収ボックスを設置し、回収した使用済みカートリッジは製品としてリユースし、製品化できないカートリッジはリサイクルして再利用する。プラスチック資源の有効活用を推進している。



インクジェットプリンターの使用済みカートリッジを回収、製品化する仕組み

岩谷産業株式会社
〒541-0053
大阪市中央区本町3-6-4
http://www.iwatani.co.jp/jpn/

株式会社エコリカ
〒540-0027
大阪市中央区錦町1-2-9
https://www.eoricarica.jp/

36カ所の障害者就労施設に使用済みカートリッジの回収作業、仕分け作業を依頼することにより、雇用拡大にも取り組んでいる。